

# 成田市議会だより No.86

平成28年 12月定例会

2017.2.1発行



## 表紙写真募集

成田市議会だより(5月1日号)に掲載する写真を募集します。

「あなたが想う  
成田らしい写真」

締切は4月10日(月)

詳細は15ページを  
ご覧ください

### 「平成29年成人式」

平成29年1月8日に成田国際空港で開催された成田市成人式。心配された雨も降ることなく、1018人の新成人が参加し、将来の夢を語りました。  
(成田国際空港)

### 主 な 内 容

常任委員会 .....	3	一般質問 .....	9
特別委員会 .....	5	議会報告会を開催 .....	16
議案と審議結果一覧 .....	7	コーヒータイトム .....	18

12月  
定例会の  
あらまし

# 38議案を可決

## 義務教育学校設置条例制定や 指定管理者の指定など

平成28年12月定例会は、12月2日に招集され12月21日まで20日間の会期で開かれました。

定例会の初日には、36議案が上程されました。

一般質問は、12月6日から4日間、20人の議員が登壇して行われ、12日からは各常任委員会、特別委員会が開かれました。

最終日には、議案36件を原案どおり可決後、工事の協定締結に係る追加議案2件が上程され、可決しました。また、請願1件を採択、1件を不採択、1件を継続審査とし、閉会しました。

### 12月定例会の日程

月 日	内 容
12月 2日(金)	本会議(開会、会期の決定、全議案一括上程)
6日(火)	本会議(一般質問)
7日(水)	本会議(一般質問)
8日(木)	本会議(一般質問)
9日(金)	本会議(一般質問、議案質疑、委員会付託)
12日(月)	建設水道常任委員会、空港対策特別委員会
13日(火)	議会運営委員会、経済環境常任委員会
14日(水)	医学部設置に関する特別委員会、教育民生常任委員会
15日(木)	総務常任委員会
21日(水)	本会議(会議録署名議員指名、議案・請願審議、閉会)

# 常任委員会

本会議で委員会に付託された主な議案と審査内容の概要を紹介します。

※議案件名など一部省略しています。

## 総務 常任委員会

議案10件をいずれも可決し、請願1件を不採択としました。

所管事務について7件の報告を受けました。

### ▼成田市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正

**[内 容]** マイナンバー法に基づき条例で定めることとされている個人番号の利用範囲等を拡張することにより、住民が市へ申請等をする際の添付資料の省略など、手続きの簡素化による負担の軽減等を図るため、所要の改正を行うもの。

**[主な質疑]** **問** マイナンバーの独自利用に6事務が追加されるが、今後さらに改正される予定があるのか。

**答** 国の第三者機関である個人情報保護委員会で情報連携できる事務を示しているので、今後も事例の追加を注視するとともに、市民の利便性や費用対効果を検証しながら独自利用事務の追加を検討していく。

### ▼南スーダンへの陸上自衛隊派遣中止を求める請願書

**[主な意見]**

- 南スーダンは事実上の内戦状態の可能性があり、PKO参加5原則<sup>注1</sup>に反している恐れがある。また、安保関連法案も違憲性が高く、本請願の趣旨のとおりと考える。
- PKO参加5原則が満たされている場合でも、安全を確保しつつ有意義な活動を実施することが困難と認められるときは、部隊を撤収するとされている。今回の派遣は、紛争を助長するものではなく、日本の国際的な立場を守り国際平和に貢献するものであり、本請願に反対する。

注1 日本がPKOに参加する際に満たすべき条件で、(1)紛争当事者間で停戦合意が成立(2)現地政府や紛争当事者の受け入れ同意(3)中立的立場の厳守(4)これらの条件が満たされない場合に撤収が可能(5)武器使用は防護のための必要最小限に限る。1992年に成立したPKO協力法に盛り込まれた。

### ▼成田市立義務教育学校設置条例制定

**[内 容]** 学校教育法等の一部が改正されたことに伴い、小中一貫教育を目的とする義務教育学校が新設されたことから、下総小学校および下総中学校を義務教育学校に移行し、名称を下総みどり学園と定めるため、新たに条例を制定するとともに、関連する条例改正を行うもの。

**[主な質疑]** **問** 義務教育学校で期待される効果は。

**答** 中1ギャップ<sup>注2</sup>の解消のほか、不登校生徒の減少、学力や規範意識の向上、異年齢集団で活動することによる子どもたちの成長に加え、教職員には、児童生徒理解や指導法の工夫改善に効果があると考えます。

注2 日本の一部の児童が、小学生から中学1年生に進級した際に被る、心理や学問、文化的なギャップと、それによるショックのこと。

### ▼成田市児童ホームの設置及び管理に関する条例の一部改正

**[内 容]** 久住小学校の学校敷地内に独立した新たな児童ホームを整備し、名称を久住第二児童ホームと定め、平成29年4月1日から開所することに伴い、所要の改正を行うもの。

**[主な質疑]** **問** 久住第二児童ホームの定員を40人とした根拠は。

**答** 久住小の学区では、学齢前児童が、各年齢で70人から80人程度おり、今後、新入学児童の3分の1程度が児童ホームを利用すると見込み、また、新たに児童ホームの利用を希望する家庭が増加することも考慮し、既存の久住児童ホームとあわせ、定員90人で対応できると考えて設定した。

## 教育民生 常任委員会

議案17件をいずれも可決しました。

所管事務について2件の報告を受けました。



▲建築中の久住第二児童ホーム

## 経済環境 常任委員会

議案5件をいずれも可決し、  
請願1件を採択としました。  
所管事務について5件の報  
告を受けました。



▲公設市場移転予定地

### ▼平成28年度成田市公設地方卸売市場特別会計補正予算 (第1号)

[内 容] 職員人件費の増額のほか、施設整備費について卸売市場再整備に伴う基本設計及び実施設計に要する費用を、国の補正予算に伴い増額し、歳入歳出それぞれ3億1,611万2千円の増額補正を行うもの。

[主な質疑] 問 移転先の県有地の取得費用、インフラ対策等再整備に係る施設整備費用、輸出拠点化推進事業の総事業費はどの程度と見込んでいるのか。

答 県有地の取得費用は千葉県と協議中であり確定したものではないが、概算で約6億円を見込んでいる。施設整備費用は、今後基本計画等をまとめて精査していくが、現段階で総事業費は概算で74億円を見込んでいる。しかし、今後の事業展開によっては、変動の可能性がある。

### ▼「家庭用雨水タンク利用推進」に関する請願書

[主な意見] ● 昨今の気候変動、温暖化の影響による大量の降雨で、崖崩れ災害等多発しており、人命に関わる被害が広がっている。本請願の一般家庭による雨水タンクの利用が普及すれば、災害防止に大きく貢献するものであり、本請願について賛成する。

### ▼千葉県と成田市との間における公共下水道の使用料の 徴収等に関する事務の委託に関する協議

[内 容] 成田市の下水道区域内の県営水道給水区域において、上水道料金徴収事務は千葉県水道局が、下水道使用料徴収事務は成田市がそれぞれ行っているため、住民サービスの向上および事務の効率化を目的に下水道使用料の徴収等に関する事務を千葉県に委託するもの。

[主な質疑] 問 一元化によって新システムを導入することだが、下水道料金の値上げなどの影響はないか。

答 下水道料金の値上げなどの影響はない。徴収事務を一括して行うことにより、住民サービスの向上や事務の効率化、経費の削減が図られる。

## 建設水道 常任委員会

議案6件をいずれも可決し、  
請願1件を継続審査としまし  
た。  
所管事務について4件の報  
告を受けました。

### ▼市道川栗畑ヶ田線整備事業に係る工事の協定締結

### ▼畑ヶ田地区下水道整備事業に係る工事の協定締結

[内 容] 国際医療福祉大学医学部附属病院の建設に伴う市道および下水道の整備事業に係る工事は附属病院予定地の造成工事と一体的に行うことが不可欠かつ合理的であることから、附属病院の建設を行う一般社団法人成田国際医療都市機構に工事を行わせる内容の協定を締結するもの。

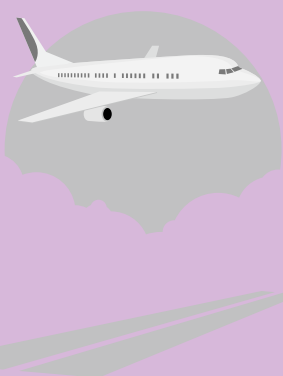
[主な質疑] 問 工事は、いつごろ終わるのか。病院のオープンに間に合うのか。

答 工事は、平成29年の夏ごろの完了を予定しているが、このほかの敷地外の下水道工事や北側の市道大清水東和田線の交差点改良工事、また、南側の既存道路へと接続する部分の工事などについては、市の発注で施工する予定であり、病院本体の工事が完成する平成31年度中には、全て完了する見込みである。

# 特別委員会

委員会で報告された内容の一部を要約して紹介します。

## 空港対策 特別委員会



### ●成田空港の更なる機能強化の状況

9月の委員会以降、成田空港騒音対策地域連絡協議会役員への説明会や、下総、久住、中郷、大栄、遠山の各部会、および個別の13地区において、それぞれ説明会を開催しました。説明会では、ほとんどの地区から夜間飛行制限の緩和に対する厳しい意見や集落分断の解消についての要望が出され、今後も引き続き説明会を開催するとともに、まだ実施していない地区についても相談をしたいと考えているとのことでした。

**[主な質疑]** **問** 今回の夜間飛行制限の緩和について、成田市としてどのように受けとめているのか。

**答** 成田空港の発展は地域の発展に直結するものと認識しているが、夜間飛行制限の緩和を含めた機能強化の実施には、騒音地域住民の理解が大前提であるため、現在開催している住民説明会を継続し、結論ありきの説明ではなく、双方向で何度も意見を交わしながら地域に寄り添った対策が示せるよう、関係機関とともに取り組んでいきたいと考えている。

### ●成田空港の更なる機能強化への空港会社の取り組み状況

現在、小さな地区単位で成田空港の更なる機能強化の説明会を行っているが、これに合わせて、住民が気軽に参加できる対話型説明会を12月下旬と平成29年1月下旬で計6日間、成田市役所において実施したいと考えているとのことでした。

### ●現状の滑走路における処理能力向上の取り組みについて

東京オリンピックの需要に対応するため、地域との約束である30万回の枠内で、ピーク時間帯の1時間当たり離発着可能回数を現状の68回から72回まで上げることとし、高速離脱誘導路<sup>注3</sup>の整備およびそれに伴うスポット<sup>注4</sup>の整備を行います。このうち、スポット等の整備については、一部飛行場区域の拡大を伴うことから、国に対し航空法に基づく変更許可申請を行い、今後、国で公聴会が開かれる予定となっています。また、エコ・エアポート基本計画に基づき、本整備により周辺環境に与える影響について自主的な環境影響調査を実施したところ、周辺環境への影響は小さいとの結果が得られました。調査結果については、成田国際空港株式会社の本社ビルや北地域相談センター、南地域相談センター、成田市役所等で、12月6日から平成29年1月6日までの1カ月間、縦覧を行っています。

注3 着陸後の航空機が滑走路からスムーズに離脱できるよう滑走路に対して斜めに取り付けられる誘導路。

注4 空港にある航空機が駐機する施設を「エプロン」といい、航空機を各々駐機するために定められた場所は、特に「スポット」という名称が使われる。

### ●その他

成田空港の機能強化に伴う夜間飛行制限の緩和などについて委員から質疑や要望がありました。

**[主な質疑]** **問** 夜間飛行制限の緩和に当たっては、今まで以上の環境対策が必要だと考えるが、どのようなことを考えているのか。

**答** 地域住民の生活環境をきちんと保護していかなければならないという思いから、現在は寝室に内窓を設置させていただくことを提案しているが、これはまだ施策として固まったわけではなく、あくまでも「提案」という形なので、説明会等を通じ、ご意見をいただくことで、今後の施策に反映させていきたいと考えている。

## 医学部設置 に関する 特別委員会



### ●国家戦略特区の進捗状況について

医学部新設について、9月13日に国で国家戦略特区連絡会議が開催され、次回の区域会議案件についてのヒアリングと、規制緩和の活用見込みなどの情報共有がされました。公津の杜駅前の医学部校舎の建設工事についてはスケジュールどおりに進んでおり、工事に関して28の市内業者の協力を得ており、今後も増加する見込みであるが、成田市としても引き続き市内業者の活用を要望していくとのことでした。

### ●国際医療福祉大学との地域連携について

10月26日に市民代表者と庁内関係課長で構成される成田市地域連携推進懇話会を開催して成田市からの要望を集約し、その後、11月25日に地域連携推進に関する代表者会議に当たる成田市地域連携推進協議会を開催しました。会議では、成田市と大学双方から報告および要望があり、成田市からは、委員委嘱、学生参加、教員参加、大学施設の活用で、合わせて42の連携事業の実施について要望し、大学側からは準備ができた事業から順次実施したいとの回答があり、逆に大学側からは地域と連携して行う取り組みへの協力など6項目の要望があり、成田市は市民向け講座の積極的なPRなど、可能な範囲で協力していくと回答しました。連携事業は、成田市と大学の地域連携によるまちづくりへの効果が期待されることから、全力で進めていきたいとのことでした。

### ●委員会で審査された陳情

- ▶ 政務活動費の領収書等の議会ホームページでの公開を求める陳情書 **趣旨採択** <議会運営委員会>
- ▶ 成田市議会議員の政務活動費の領収書等を議会ホームページで公開することを求める陳情書 **趣旨採択** <議会運営委員会>



### 「会期不継続の原則」とは

議会は会期ごとに活動するものであることから、当該会期中に審査を終了しなかった案件は会期終了と同時に消滅するという原則のことをいいます。

### 「閉会中の継続審査」とは

委員会は会期中に全ての付託事件の審査を終了できるとは限りません。この場合、委員会は議長に対し閉会中の継続審査を申し出ることができ、本会議で可決されることにより、その事件に限り閉会中も活動することができます。会期不継続の原則の例外です。

### 「趣旨採択」とは

請願の採択は委員会段階では規則によると採択すべきものまたは不採択とすべきものの二者択一です。しかし、委員の中には請願事項に反対ではないけれどもその一部について具体的な実現が難しいような場合や、実現は可能であるが時期は希望と違うような場合に合理的な範囲で採択することがあります。このような決定の方法を趣旨採択といいます。

# 議案と審議結果一覧

議案番号	件名 ※件名は一部省略しています	議決結果	政友クラブ					豪政会					成田自民の会		公明党		リベラル		新風成田		共産党		虹								
			神崎勝	雨宮真吾	湯浅雅明	小澤孝一	秋山忍	荒木博	村嶋照等	石渡孝春	宇都宮高明	海保貞夫	飯島照明	小山昭	上田信博	青野勝行	福島浩一	佐久間一彦	神崎利一	平良清忠	一山貴志	水上幸彦	大倉重雄	海保茂喜	伊藤竹夫	油田清	鳥海直樹	星野慎太郎	鬼澤雅弘	荒川さくら	鶴澤治
◆議案																															
1	個人情報の保護に関する法律及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	×	×	×
2	成田市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	×	×	×
3	成田市職員の配偶者同行休業に関する条例制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
4	一般職職員の給与に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
5	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	×	×	×
6	特別職の職員の給与に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	×	×	×
7	成田市行政財産使用料条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
8	成田市立義務教育学校設置条例制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	×	×	○
9	学校教育法等の一部を改正する法律の施行等に伴う関係条例の整理に関する条例制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	×	×	○
10	成田市児童ホームの設置及び管理に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
11	成田市遺児等手当支給条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
12	成田市子ども発達支援センターの設置及び管理に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
13	成田市のぞみの園の設置及び管理に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
14	成田市駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
15	成田市豊住ふれあい健康館の設置及び管理に関する条例制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
16	成田市急病診療所の設置及び管理に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
17	成田市工場立地法に基づく緑地面積率等に係る準則を定める条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	×	×	○
18	成田市リサイクルプラザストックヤード建設工事（建築工事）請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	×	×	○
19	三里塚消防署建設工事（建築工事）請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
20	指定管理者の指定（こすもす苑デイサービスセンター）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	×	×	○



議案番号	件名 ※件名は一部省略しています	議決結果	政友クラブ							豪政会			成田自民の会		公明党		リベラル		新風成田		共産党		虹								
			神崎勝	雨宮真吾	湯浅雅明	小澤孝一	秋山忍	荒木博	村嶋照等	石渡孝春	宇都宮高明	海保貞夫	飯島照明	小山昭	上田信博	青野勝行	福島浩一	佐久間一彦	神崎利一	平良清忠	一山真志	水上幸彦	大倉重雄	海保茂喜	伊藤竹夫	油田清	鳥海直樹	星野慎太郎	鬼澤雅弘	荒川さくら	鶴澤治
21	指定管理者の指定（のぞみの園）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	指定管理者の指定（三里塚コミュニティセンター）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
23	指定管理者の指定（公津の杜コミュニティセンター）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
24	指定管理者の指定（荒海共生プラザ）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25	指定管理者の指定（印東体育館）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26	指定管理者の指定（十余三パークゴルフ場）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27	指定管理者の指定（久住パークゴルフ場）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28	千葉県と成田市との間における公共下水道の使用料の徴収等に関する事務の委託に関する協議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29	平成28年度成田市一般会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
30	平成28年度成田市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31	平成28年度成田市下水道事業特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
32	平成28年度成田市公設地方卸売市場特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○
33	平成28年度成田市介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
34	平成28年度成田市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
35	平成28年度成田市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
36	平成28年度成田市水道事業会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
37	市道川栗畑ヶ田線整備事業に係る工事の協定締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○
38	畑ヶ田地区下水道整備事業に係る工事の協定締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○
◆ 請 願																															
8	南スーダンへの陸上自衛隊派遣中止を求める請願書	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	「家庭用雨水タンク利用推進」に関する請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 請願第7号「成田赤坂2丁目2-3における葬祭場建設に関する請願書」は継続審査。  
 ※ ○=賛成、×=反対 ※ 議長（伊藤 竹夫）は採決に加わりません。  
 ※ 党派等の名称の略は次のとおり リベラル=リベラル成田、共産党=日本共産党、虹=虹と緑

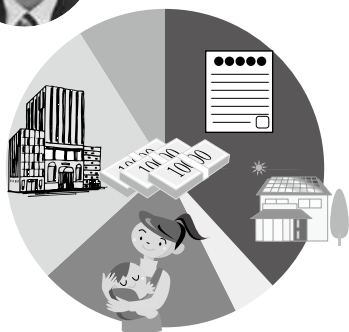


# 一般質問

議員が市政の方針や考え方を市長などに聞くものです。  
質問と答弁の内容を要約して掲載しています。

## 1. 補助金交付のあり方

雨宮真吾 議員



**問>>>** 補助金交付のあり方として疑義が生じている成田市指定無形民俗文化財保存団体連絡会は既に3年間にわたり運営がされていると思うが、その中で出された実績報告書の内容と成田市が調査をかけた内容にどのような乖離が生じているのか。また、乖離が生じるのは、市に対して虚偽の実績報告書を挙げていたということなのか、市が把握している事情を伺う。

**答>>>** これまで提出された実績報告書および前会長と3団体の会長との話し合いの中で、確認がとれたものとして、総会の会議費が支払わ

れていなかった、構成する団体への活動補助金が支払われていなかった、事務費として掲載されているが、支出がされていなかったもの等がある。実績報告書との差異を確認したので、改めて報告書をつくっていただくようお願いしている。

### その他の質問

- ◆補助金の法的解釈及び位置づけ
- ◆補助金給付施策の決定過程

## 2. 生活道路と通学路の安全対策

水上幸彦 議員



▲生活道路の安全確保策であるゾーン30

**問>>>** 警察庁は2017年度以降もゾーン30<sup>注5</sup>の整備を進めることを各都道府県警に通知し、千葉県警も道路管理者の市町村と連携して、さらに増やし、周知を強化していくとのことである。そこで、生活道路の安全確保策ゾーン30の周知と市主導による指定の推進について考え方を伺う。また、平成28年4月に策定された成田市通学路交通安全プログラムによる対策について伺う。

**答>>>** ゾーン30は、住宅街や通学路における歩行者や自転車の安全対策として有効であるため、今後は成田警察署と連携を密にして指定に

向けて進めていく。また、成田市通学路交通安全プログラムによる対策として、現在、各学校からの要望書に示された箇所への対策案の協議結果を基に、関係機関においてガードレールの設置や注意喚起のための路面標示、看板の設置などの検討および改善を図っている。

### その他の質問

- ◆都市計画マスタープラン策定の考え方と計画の進め方
- ◆市民協働推進の基本指針による協働の仕組みづくり
- ◆いずみ聖地公園整備計画の今後の進め方

注5) 自動車事故抑止のため、市街地の住宅街など生活道路が密集する区域を指定し、その区域での車の最高速度を時速30キロに制限する交通規制

## 3. 観光計画

福島浩一 議員



▲市内で開催される観光イベント

**問>>>** 日本政府観光局が発表した2016年9月の訪日外客数の推計値は前年同月比19%増で、インバウンド<sup>注6</sup>の伸びやそれに伴う観光消費額の伸びはとどまることを知らない状況である。観光は産業セクターとしても重視され、自治体にとっても、明確な観光政策を立案して主体的な地域マネジメントの一環として観光をとらえなければならない時期に来ていると思うが、成田市における観光基本計画の策定状況を伺う。

**答>>>** 平成29年度からの5か年を計画期間とした第2次成田市観光振興基本計画の策定を進めており、

日本人観光客や外国人宿泊者を対象としたアンケート調査や市政モニターアンケート調査などを実施し計画に反映していく。また成田山新勝寺を中心とした事業者支援・観光地づくりの視点に加え、成田空港を核とした広域の視点で観光を捉えることが必要と考えている。さらに観光客が快適に過ごせる環境の整備や日本の伝統芸能である歌舞伎などを積極的に活用し、各種計画との整合性を図りながら計画を策定していく。

### その他の質問

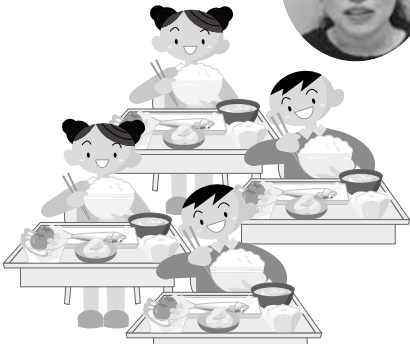
- ◆農地の流動化
- ◆成田市場移転

注6) 外国人が訪れてくる旅行のこと。日本へのインバウンドを訪日外国人旅行または訪日旅行という。



## 4. 子ども食堂への取り組みを

荒川さくら 議員



**問>>>** 2013年の国民生活基礎調査によれば、子どもの貧困率<sup>注7</sup>は16.3%と、過去最悪で、貧困の世代間連鎖を食いとめるため、全国的に子ども食堂というものが注目されている。運営、回数、内容、目的はさまざまで、低価格で栄養の良い御飯が食べられるが、公的補助がなく、食材の寄付や主催者の持ち出しなどで支えられているのが現状である。北九州市では、全国で初めて公設の子ども食堂をモデル的に実施し、学習支援も一緒に行っている。子ども食堂は、支援が必要な子どもの存在に気づく契機にもなるが、成田市での実施についての見解は。

注7) 世帯所得から国民一人ひとりの手取り収入を計算し、それを並べた時に真ん中となる人の額の半分に満たない人の割合をいう。相対的貧困率のことで、低所得者がどれくらいいるかを示す。「子どもの貧困率」はこれらの世帯暮らし18歳未満の子どもの対象にした割合を示している。

**答>>>** 子ども食堂については、現在のところモデル事業として取り組む予定はないが、今後、このような活動に取り組んでいる団体などから相談があった際には、どのような支援が可能か研究していく。

### その他の質問

- ◆給食費への補助で保護者負担の軽減を
- ◆親子方式の給食は県の許可が難しければ自校方式の再検討を
- ◆女性が輝く社会づくり、ジェンダー平等への取り組みを

## 5. 地元合意なくして空港拡大はできない

宇都宮高明 議員



**問>>>** 国内の空港で1,000ヘクタール以上の敷地面積を有するのは、羽田、成田、関西だけである。今回提案の1,000ヘクタールの空港拡大は、地元主導で国内第4位の空港づくりという視点を持たなければならない。国は、地元合意なくしてつづらないと明言している以上、地元である成田空港圏自治体連絡協議会（空港周辺9市町）の合同事務所の開設が合意形成の第1歩であると考えるが、見解を伺う。

**答>>>** 成田空港圏自治体連絡協議会の事務所は、協議会規約により成田市空港部空港地域振興課に置か

れている。成田市として、成田空港の機能強化に伴う成田空港周辺地域のさらなる発展のため、千葉県や成田国際空港株式会社とともに連携を図りながら、空港を活用した地域づくりを進めている。現在の体制において、空港周辺市町および千葉県が連携を図りつつ、地域振興策の検討を進めていることから、合同事務所の開設は、今のところ考えていない。

### その他の質問

- ◆成田に国内外の防災と人道支援の防災ハブ機能の構築を
- ◆国等への職員の派遣研修等、今後の成田を担う人材の育成を

## 6. 環境教育の取り組み

村嶋照等 議員



**問>>>** 地球温暖化対策の新たな枠組みであるパリ協定が発効された。日本は2030年の温室効果ガス排出量26%削減と2050年までの80%削減を目標とするが、どこまで達成できるかは疑問が残る。またCOP22<sup>注8</sup>では、消極的な取り組みゆえに不名誉な「化石賞」に選ばれた。こうした状況から21世紀を担う子どもたちへの環境教育が重要かつ必要と考えるが、その取り組みについて伺う。

**答>>>** 子どもたちへの環境教育について、小学校では、社会科で副読本「わたしたちの成田市」を活用して水道使用量やごみの総処理量を

学ぶことで節水を心がけること、資源の再生化などの意識を高めている。また、体験学習の場として成田富里いずみ清掃工場やリサイクルプラザを見学し、ごみを減らすこと、ものを繰り返し使うことなど、限りある資源を大切にすることを育てている。中学校では、社会科で環境問題の解決には経済的・技術的な側面があること、理科や技術・家庭科で、技術の進展が資源の有効な利用に役立つことや自然環境の保全に貢献していることなどを学んでいる。

### その他の質問

- ◆老人福祉センターの跡地利用

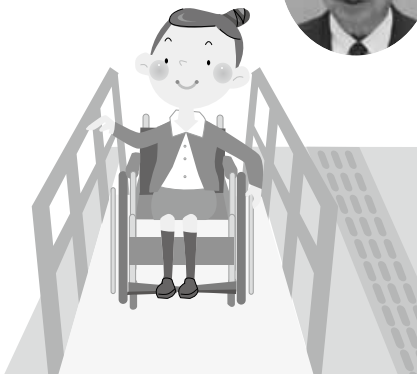
注8) 2016年11月7日から18日にかけて、モロッコ・マラケシュにおいて開催された国連会議の内容となる第22回国連気候変動枠組条約のこと。

詳しい会議録は閉会后約2カ月で市議会ホームページ、市役所行政資料室、図書館・分館でご覧いただけます。



## 7. 健幸なまちづくり

平良清忠 議員



**問>>>** 高齢者や障がい者も含めた市民が健康で幸せを感じ、住んでよかったと思えるまちづくりのため、道路や公園など、公共施設の整備にどのような視点で取り組んでいくのか伺う。

**答>>>** 道路の整備は、バリアフリー法<sup>注9</sup>に基づく国の基準を参酌し、平成24年に市の道路構造に関する基準を条例で定め平成25年4月から施行している。条例では歩道の構造について、高齢者や車いす利用者、視覚障がい者などに配慮した具体的な基準を定めている。新たな道路の整備については基準に則した設計施工を行うとともに既存道路につ

注9) 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律のこと。高齢者や障がい者などの自立した日常生活や社会生活を確保するため、旅客施設、車両、道路、路外駐車場、都市公園、建築物等に対して、バリアフリー化基準（移動等円滑化基準）への適合を求めるとともに、公共交通施設等において、住民参加による重点的かつ一体的なバリアフリー化を進めるための措置などを定めている。

いても基準に合わない部分の改修に努めている。また、都市公園の整備は、バリアフリー法の公布以降に新設した施設については同法に沿って整備を進めているが、成田ニュータウンに設置の公園は現在の基準に合っていない施設が多くあるため、都市公園管理の中でスロープの整備や階段への手すりの設置など、高齢者や障がいのある方が円滑に移動できるよう、順次、施設の改修に努めている。

### その他の質問

- ◆健康増進への取り組み状況
- ◆市営住宅の現状

## 8. 成田空港の運用時間拡大は撤回を

鶴澤 治 議員



**問>>>** 安倍政権は、経済成長戦略に首都圏空港機能強化を位置づけた。住民は異口同音に運用時間拡大に怒りの声を挙げている。「もうこれ以上の騒音は耐えられない」「時間拡大は絶対に認めないし、同意も容認もない」また、「生涯を通じて耐えがたい苦痛と健康障害を子々孫々に至るまで、負の遺産として背負うことになる」と危惧する意見も出されている。騒音下に暮らす住民の叫び、「もうこれ以上静かな夜を奪わないでくれ」、この切なる願いに応じて強化策、運用時間拡大の撤回を国に要請していただきたいが、市長の見解は。

**答>>>** 成田空港周辺では、夜間、静寂となる地域が多く、単発で発生する航空機騒音については、数値以上に大きく感じられ、睡眠の妨げになると考えている。夜間飛行制限の緩和については、なし崩し的に結論を推し進めることなく、わかりやすい説明と騒音地域の住民と双方向で何度も意見を交わし、必要性を含めしっかりと議論した上で、環境対策や騒音対策に地域の意見が反映されるよう、国・千葉県および成田国際空港株式会社に働きかけていきたい。

### その他の質問

- ◆残土埋め立て事業の危険性

## 9. 夜間飛行制限の緩和と抜本対策

小澤孝一 議員



▲離陸する航空機

**問>>>** 平成28年9月27日の四者協議会に成田空港の機能強化策3点セットが提案されてから、各地区で説明会が開催された。健康被害を及ぼすとされる夜間飛行制限の緩和については、これまでの経緯を踏まえて航空機の離着陸を制限する時間を慎重に検討することが必要であると思うが、騒音下住民の意見を聞いた上で成田市の見解を伺う。

**答>>>** 成田空港は大規模な内陸空港のため、航空機騒音などの環境問題に配慮し23時から翌朝6時までは、原則として航空機の離着陸は行わないと、開港当初から地元と約束

し、22時台は便数制限が設けられている。今回、安眠確保のため、防音効果を高める内窓を寝室に取り付けると提案されたが、夜間飛行制限緩和は、地域の環境に与える影響が大きいことから、環境対策への十分な配慮と慎重な検討が必要である。なし崩し的に結論を推し進めることなく、騒音地域住民と双方向で何度も意見を交わしながら、必要性を含めて議論し、国・千葉県および成田国際空港株式会社に働きかけていく。

### その他の質問

- ◆学校跡地事業の進捗状況
- ◆下総地区学校跡地の利活用



## 10. 静かな夜が4時間、騒音地域住民の健康を守れるのか



海保茂喜 議員



**問>>>** 長生きにつながる理想的な睡眠時間は、6時間半から7時間半の間である。これは現状の6時から23時の運行時間が健康を保つ限界であることを示している。夜間飛行制限の緩和は、静かな夜がわずか4時間で、必要な睡眠時間の長さも睡眠のゴールデンタイムもなくしてしまうことになる。このような状況で、暮らし続ける地域住民の健康を守れると考えるのか。

**答>>>** 成田空港周辺では夜間静寂となる地域が多く、単発で発生する航空機騒音については、数値以上に大きく感じられ、睡眠の妨げにな

ると考えている。このため夜間飛行制限の緩和については、わかりやすい説明と騒音地域住民と双方向で何度も意見を交わしながら、必要性を含めしっかりと議論し、環境対策や騒音対策に地域の意見が反映されるよう、国・千葉県および成田国際空港株式会社に働きかけていきたい。

### その他の質問

- ◆なし崩し的な拡大はしないとした離着陸制限の緩和は
- ◆久住中央地区が、騒音地域になることをどう捉えているのか
- ◆大学と附属病院の誘致による市民への影響は

## 11. 子どものインフルエンザ予防接種の費用助成

一山貴志 議員



**問>>>** インフルエンザは普通の風邪と異なり、38度以上の発熱、頭痛、筋肉痛など全身症状が強いこと、小さい子どもは急性脳症を起こし死亡する場合もあることが指摘されている。しかし保護者からは家族全員が予防接種を受けると経済的な負担が多く受けられないとの声が聞こえてくる。そこで、子どもの健やかな成長と子育て世代の経済負担を減らすことによる子育て環境の充実、インフルエンザにかかることなく元気に過ごせるよう、子どものインフルエンザ予防接種を希望する家庭には接種料金の一部助成などの措置を講ずるべきと考えるが見解を伺う。

**答>>>** 子どもを対象にしたインフルエンザ予防接種は、平成6年の予防接種法改正で定期接種から除外され任意接種となった。その理由は、1歳以上6歳未満でのワクチンの効果は、発病の予防において約30パーセント前後とされ、ワクチンの有効性や接種による流行阻止の期待が低いと結論づけられたためである。成田市では予防接種法に基づいて予防接種を実施していることから、今後の国の動向を注視していく。

### その他の質問

- ◆避難所運営
- ◆被災者支援システム

## 12. 小児ワクチンの予防接種の啓発の取り組み

鳥海直樹 議員



**問>>>** 生後3カ月を過ぎたころから、赤ちゃんは感染症にかかりやすくなり、それは、小児と呼ばれる期間においても同様であると思う。感染症に繰り返しかかるのは赤ちゃんの成長の過程で必要なことだが、中には重症化しやすい病気もあるので注意が必要であり、そこで小児ワクチンの予防接種が必要となってくる。予防接種の啓発として、どのような接種勧奨を行っているのか。

**答>>>** 定期予防接種の対象者には、「成田市予防接種問診票つづり」と「予防接種と子どもの健康」を生後2カ月以内に送付して接種勧奨をし、また、ホームページや広報なり

た、わが家の健康づくりカレンダーなどで広く周知を行っているが、予防接種法に該当しない任意予防接種については、現在、積極的な周知を行っていない。任意予防接種に対しても問い合わせがあることから、正しい知識と情報を発信するため今後は成田市予防接種問診票つづりやホームページに掲載し周知に努めていく。

### その他の質問

- ◆中学校部活動に係る外部指導者
- ◆中台運動公園内のウッドチップ走路整備
- ◆小児任意接種ワクチンへの助成

### 13. 国家戦略特区におけるまちづくりと企業誘致

青野勝行 議員



**問>>>** 空港関連や特区関連の企業が成田市内に進出を検討している場合など、展開エリア外でも一定の基準等を設定し、クリアできた場合は企業が望む場所へ進出できるなどの施策を講じるべきだと考えるが、いかがか。また、医療関係企業からも、研究施設や研修場などが成田でつくれないと聞いている。展開エリア外でも土地利用の規制緩和が受けられるようにするべきだと考えるが、成田市の考えを伺う。

**答>>>** 企業が市内に進出するに当たっては現行制度により手続きを進めていく必要があるが、農地法の

注10 都市計画法に定められている、住民の合意に基づいて、それぞれの地区の特性にふさわしいまちづくりを誘導するための計画。

改正法の施行により、国の許可が必要であった事案が県の許可で済むようになるなど、手続きの簡略化が図られたものと考えている。また、市街化調整区域における土地利用規制の緩和について、都市計画法では市街化調整区域の土地利用の可能性を規定しており地区計画もその一つとなっている。そのため、市街化調整区域における土地利用については、地区計画制度<sup>注10</sup>などの現行制度を活用して有効な土地利用を行うものとし、その活用に当たっては可能な限り支援をしていきたいと考えている。

### 14. 空港機能強化が環境に与える影響

会津素子 議員



▲空港拡張案

**問>>>** 温室効果ガス<sup>注11</sup>の排出が続けば今世紀末までに平均気温は最大で4.8度上昇し、3分の2の植物と3分の1の哺乳類が生息地を失うとされているが、もっと近い将来に起きるのではないとも言われている。これを防ぐためには世界全体の温室効果ガスの排出量を削減しなければならないが、成田国際空港株式会社の計画段階環境配慮書には空港機能強化により温室効果ガスの排出量が1.7倍になると書かれていた。空港機能強化が完了するころには、人間が住みにくい社会になっている可能性もあるが、それでも空港機能強化が必要なのであれば理由を伺う。

**答>>>** 成田市にとって成田空港のさらなる機能強化は最大の地方創生につながると考えている。一方で、第3滑走路の建設等に伴い自然環境への影響も懸念されるため、今回の機能強化については、その必要性や採算性だけでなく、環境への負荷低減についても日本の表玄関にふさわしい高いレベルでバランスのとれたものとなるよう望んでおり、成田国際空港株式会社に伝えていきたい。

#### その他の質問

- ◆東京オリンピックにおける選手村やキャンプ地の食料調達
- ◆給食の質の向上

注11 大気圏において、地表から放射された赤外線の一部を吸収することにより、温室効果をもたらす気体の総称。対流圏オゾン、二酸化炭素、メタンなどが該当し、地球温暖化の主な原因とされている。

### 15. 飛行コース直下住民対策

海保貞夫 議員



**問>>>** 成田空港のさらなる機能強化では、飛行回数が30万回から50万回に増加する可能性があり、各地区で住民説明会が行われているが、機能強化に対応した住民対策が必要で、騒音下住民が納得する施策が強く望まれている。そこで、落下物からの危険を回避するための飛行コース直下住民対策は移転を基本とする必要があると思うが考えを伺う。

**答>>>** 平成28年8月2日開催の千葉県知事と千葉県内首長との意見交換会において、航空機落下物からの抜本的な対策として、移転補償の制度化について要望を行い、知事が

ら「落下物問題は根絶しなければならぬ。要望の趣旨をしっかりと国に伝える」との返答をいただいた。さらに、平成28年11月27日に荒海区で開催された落下物に関する説明会において、国土交通省より、航空局の職員が空港で駐機中の航空機をチェックする仕組みを新たに構築するなどの対策を検討しているとの説明があった。このため、成田市としては、飛行コース直下住民の要望や実情を踏まえ、引き続き成田空港の将来を見据えた今後の課題解決に向けて、関係機関に対し、落下物に関する抜本的な対策の実施を働きかけていきたいと考えている。



## 16. 夜間飛行制限の緩和案に裏切られたと言う声が多いが

鬼澤雅弘 議員



▲騒音地域から見た航空機

**問>>>** 騒音地域住民は、空港と共存共栄ということで生活を送ってきた。しかし、夜間飛行制限の緩和案を提案したことで、深夜は飛行機を飛ばさないという開港当時の国と千葉県との固い約束があったからこそ騒音地域でも暮らしていけると思い空港建設に賛成してきた方々から、裏切られたと言う声を多く耳にする。この点について成田市としてどのように考えているのか伺う。

**答>>>** 夜間飛行制限の緩和を含む成田空港のさらなる機能強化には、騒音地域住民の理解が大前提であり、説明会は、結論ありき、期限ありきではなく、案の段階でまず説

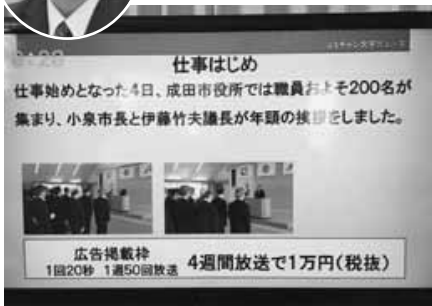
明を行い、騒音地域の声を伺う場だと考えている。そして今後の説明会を通じて、騒音地域の方々と国、千葉県、成田市、成田国際空港株式会社が双方向で意見を交わし、しっかりした議論をした上で、地域に寄り添った環境対策などを示しながら、合意形成を図っていきたいと考えている。

### その他の質問

- ◆夜間飛行制限の緩和案に住民反対が多い場合、変更はあるのか
- ◆市内通学路は安全と言えるのか
- ◆成田市通学路交通安全プログラムの導入による成果の期待は

## 17. 障がい者への合理的配慮

大倉富重雄 議員



▲ケーブルテレビの文字放送

**問>>>** 平成28年4月施行の障害者差別解消法により、一人一人の困りごとに合わせた合理的配慮の提供が、行政は義務、事業者は努力義務となった。私は、昭和62年6月議会一般質問から聴覚障害者に関する提案を行ってきており、今こうした新たな流れの中で、積極的な施策の展開が望まれていると考えている。そこで、障害者差別解消支援地域協議会について、どう考えているのか、成田市の見解を伺う。

**答>>>** 障害者差別解消支援地域協議会は、障がいのある方の支援に関わる行政機関が、地域における障

がい者差別の相談対応事例や取り組みの状況などを共有することで、地域の課題を把握し、解決策を検討することを目的として、障害者差別解消法に基づき設置することができるものである。他市の先行事例を参考にしながら、地域協議会の設置に向けて取り組んでいく。

### その他の質問

- ◆成田空港の機能強化策の取組み
- ◆平成29年度当初予算編成方針
- ◆子育て世代包括支援センター

## 18. 子どもたちの英語体験学習に「英語村」の開設を

星野慎太郎 議員



▲中台小学校で開催された国際交流会の様子

**問>>>** 近年、英語村が全国各地に広がっている。英語村は、小中学生らが英語のみを使って楽しみながら生きた英語や異文化を学ぶ体験施設であり、気軽に留学するような体験ができるのが魅力と言われている。英語村は、学校ではなく、学校から一歩踏み出した機能を期待して、学校とは違う体験ができること、より実社会と密接に結びつく生きた英語を使い試す場となることが求められる。この英語村の開設について、英語教育に力を入れている成田市として、どのように考えているか見解を伺う。

**答>>>** 英語村の開設については、身近に英語に触れる場面が少ない地域にとっては大変良い試みだと考えている。成田市では、学校に外国人ゲストを招いて国際交流会を実施するほか、市内の参道において外国人観光客に英語で話しかける参道学習や成田空港において旅行客に英語でインタビューを行う学習など、実践的に英語を活用する環境が身近に存在していることから、英語村を開設するという考えはない。

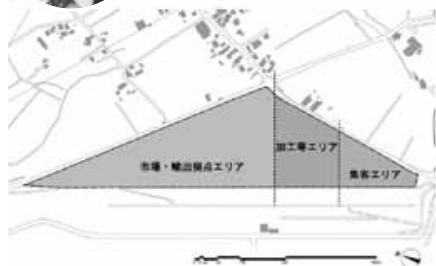
### その他の質問

- ◆成田市の英語教育の特徴は
- ◆英語教育の今後の方向性は

## 19. 公設市場だけの移転で関係者は活性化されるのか



神崎利一 議員



▲市場移転先ゾーニング図（予定）

**問>>>** 公設成田市場は、老朽化などに伴う再整備が必要であると同時に、国際空港があることから安倍政権の戦略の柱である農林水産物の輸出促進の拠点として定められた。国の支援を受け千葉県花植林センター跡地の県有地を購入するとのことだが、今後どのような計画で進めるのか。また、市場だけの移転で関係者は活性化されるのか。

**答>>>** 現在策定中の基本計画において、公設卸売機能や農水産物の輸出拠点機能などを中心とした市場・輸出拠点エリア、農水産物の付加価値を高めるための加工機能など

を中心とした加工エリア、飲食や物販を初めとした、市民や成田空港を利用する国内外の旅行者も気軽に立ち寄れるような機能を中心とした集客エリアの3つのゾーンに区分し、整備する具体的な施設について精査している。これまでの公設市場機能に加え、市民を初め周辺市町や訪れた方にも開かれたにぎわいのある施設となるよう、計画していく。

### その他の質問

- ◆医療産業集積の考え方は
- ◆付属病院周辺の地元への効果は
- ◆提案されている騒音対策より納得のいく対策

## 20. パンク寸前清掃工場



油田 清 議員



▲搬入ごみに不適物が混ざっていないか検査する様子

**問>>>** 平成21年の環境影響評価書では、ごみ溶融処理量を最大で1日156トンと見込んでおり、それを根拠に1日106トンの2炉という現在の溶融炉が決定された。しかし平成27年の決算書を見ると、最低でも1日240トンが必要となり、とても足りないという計算式が出てくる。これは重大な問題と認識している。リサイクルの観点から見ると、平成17年のリサイクル率は25.2%であったが、平成25年は13.8%と大きく後退した。新清掃工場が稼働し、ごみの分別を6分別から9分別に変更したときに率が急激に落ち込んでいる。ごみが増えている原因について伺う。

**答>>>** 成田富里いずみ清掃工場での計画処理量を現状の処理量が上回っている原因はごみ量全体の約4割を占める事業系ごみが旧清掃工場稼働時と比較して大きく増加しているためである。また減量化が進まない原因には分別の精度の問題がある。現在は、紙・布類が非常に高い割合であり、特に紙類は資源物であるのに適正に分別されていない。これらの分別の徹底がごみの減量化・再資源化のために大変重要と考えている。

### その他の質問

- ◆学校トイレの洋式化
- ◆京成成田駅西口再開発の見通し

## 表紙写真を募集します！

次号（H29年5月1日発行）の表紙に掲載する写真を募集します。

### 【募集内容】

- ◎**テーマ**：あなたが想う成田らしい写真（風景・イベント・お祭りなど）。
- ◎**規格など**：デジタル写真データ（JPEG形式サイズ1MB以上3MB以下）。
- ◎**応募規定**：応募者が撮影し被写体の承諾を得たもの。応募は1人1回につき、2点まで。
- ◎**受付期間**：作品は原則随時受け付けします。但し、イベントや季節を感じるものについては、発行日の6週間前（平成29年3月20日）から締切日（4月10日）までの間に撮影された写真を審査の対象とします。
- ◎**紙面への掲載**：表紙の写真は縦20.5cm×横20cmのほぼ正方形のサイズとなりますので、それに合わせて編集し

ます。写真のタイトルおよび写真のキャプション、撮影者名を掲載させていただきます。また、作品はモノクロで掲載されます。

### ◎応募方法

- ・写真のタイトル（10字以内）
  - ・写真のキャプション（写真に添える説明文80字以内）
  - ・氏名                      ・住所                      ・電話番号
  - ・撮影場所                ・撮影年月日
- を明記の上、議会事務局まで郵送または電子メールでご応募ください。（電子メールでの応募の際は、1作品単位でお送りください。）

◎**選考**：広報広聴委員会で行います。

◎**注意事項**：応募作品の返却は原則行いません。

◎**応募・問い合わせ先**：市議会事務局

〒286-8585

住所：成田市花崎町760 電話：0476-20-1570

メール：gikai@city.narita.chiba.jp

# 議会報告会を開催しました

成田市議会では、平成28年11月5日(土)、6日(日)に2回目の議会報告会を市内4会場で開催し、延べ62人のご参加をいただきました。

この議会報告会は、平成26年12月に制定した議会基本条例に基づくもので、議会の活性化と開かれた議会の実現を目指し、議員が議会の活動状況等を直接市民の皆さんに報告するものです。今回は会場を前回より2つ増やし、より多くの方に参加していただける形をとりました。

報告会では、4つの常任委員会と2つの特別委員会が定例会における審査概要について報告し、報告内容についての質問に答え、続いて意見交換を行い、多くの方からさまざまなご意見・ご要望をいただきました。

また、報告会の開催に当たり、参加者の皆さんにアンケート調査をお願いし、ご協力をいただきました。

今後も、報告会でいただいたご意見やアンケート調査の結果を参考に、さらなる開かれた議会を目指してまいります。

## 【議会報告会の概要】

開催日 平成28年11月5日(土)、6日(日)

会場 5日 午前10時～正午：もりんぴあこうづ 午後2時～4時：三里塚コミュニティセンター  
6日 午前10時～正午：久住公民館 午後2時～4時：下総公民館

### ①常任委員会の報告

- ・総務 (平成27年度決算の概要と総括)
- ・教育民生 (保育園・小学校・中学校大規模改修工事、市役所でのパスポート申請、オンデマンド交通、不妊治療等の助成、学校給食事業)
- ・経済環境 (ごみの減量化、成田卸売市場の再整備及び輸出拠点化推進事業)
- ・建設水道 (並木町大久保台地区の調整池築造工事請負契約の締結など)

### ②特別委員会の報告

- ・空港対策 (カーフェリーの弾力的運用の実施状況、成田空港のさらなる機能強化に向けた動き、成田国際空港株式会社との意見交換、意見・要望活動など)
- ・医学部設置に関する (医学部校舎および医学部付属病院建設地について、市有財産の取得および無償貸付けなど)

### ③意見交換

## 【議会報告会への参加状況】

来場者62人のうち、59人からアンケートにご回答いただきました。

	もりんぴあ	三里塚コミセン	久住公民館	下総公民館	計
来場者(人)	24	14	7	17	62
アンケート回答	24	13	6	16	59





### 【会場での質問や意見等】（※一部の要旨を掲載しています）

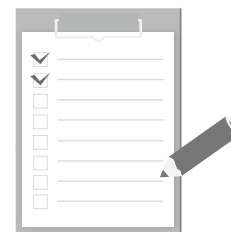
- ・ごみの量が予想を上回っているとのことだが、どのように認識しているか。
- ・B滑走路の北側への延伸やC滑走路の新設、付帯する空港設備のさらなる拡充等の案が出ているが、必ずこの案で進められるということなのか。
- ・空港の機能強化の一方では、衰退していく地域もある。今後の10年、20年をどのように見据えているのか。
- ・空港の運用時間は開港時の地元との約束事項である。落下物や睡眠妨害の対策など、議会としても真剣に取り組んでほしい。
- ・大学病院ができることは非常に喜ばしいことだが、アクセスが悪く、研究施設とか国際医療への貢献ということで考えられているのか。地域医療としてはどのように考えているのか。
- ・国際医療福祉大学医学部の付属病院が設置されて、本当に成田市に医師が残るのか。
- ・卸売市場が花植木センター跡地へ移転することだが、現在の成田市場の跡地の予定は。
- ・成田市の農産物をどのような国に輸出するのか。また、安定的に輸出できるのか。
- ・空の駅さくら館は、今後どのような方向で施設を運営していこうと考えているのか。
- ・学校給食費に関して、他の自治体では、2人目からは給食費を半額にしているところもある。無償化までは難しくても、減額する制度を検討できないか。
- ・成田市全体を盛り上げていくためにも、地域で一生懸命活動している団体への補助制度の見直し、充実を。
- ・オンデマンド交通は、行きの予約が取れても帰りの予約が取れない。また通院であっても市外の病院には行けないというように改善すべき点も多い。検討を。
- ・コミュニティバスはエリアごとの運行だが、各ルート間でスムーズな乗り継ぎができるよう工夫を。
- ・千葉県下の自治体では、将来負担比率を減らしているが、成田市は右肩上がりである。N A R I T A みらいプランの財政計画について、議会で十分審議されたのか。
- ・耳が聞こえない参加者たちにとって、資料を見ながら話を聞くことは健常者の方々とは少し差がある。できれば資料を事前にいただければありがたい。
- ・議会報告会の参加者からの意見は、どうしても行政への要望が多くなってしまふ。より良い運営方法を検討願いたい。



▲議会報告会の様子（もりんぴあこつづ）

### 【アンケートのご意見】（※一部の要旨を掲載しています）

- ・資料が良くできていた。
- ・現状の取り組み、課題が理解できた。
- ・資料は立派だが、説明が早く、ついていくのが間に合わない。
- ・中学校・高校の体育館等で実施し、18歳以上の高校生の参加を促しては。
- ・前回と比してスムーズに進行され、質問・意見が整理されていた。
- ・報告会を開いていただきありがとうございました。今後も続けて下さるとありがたい。
- ・議会だよりで報告内容を事前に広報できれば参加者は増える。現在は開発途上であり、努力に感謝する。



※議会報告会で出された主な質疑・意見等については、市議会ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

## 広報広聴委員会と高校生との意見交換会を開催します

選挙権が18歳に引き下げられ、高校生にとって政治や選挙が身近なものとなりました。成田市議会では高校生に、市議会に関心をもってもらい、また議会の側も若者の意見を聞く機会を作ることを目的として高校生との意見交換会を下記のとおり開催いたします。この意見交換会では、市議会の仕組み等の説明のほか、議会クイズ、意見交換などを予定しております。一般の方も傍聴できますので、ぜひご参加ください。

■日時/平成29年3月27日(月) 午後2時～4時

■会場/成田市役所議会棟 議場および委員会室

※傍聴を希望される方は当日直接会場へお越しください。

※詳しくはホームページをご覧ください。



## 議員研修会を開催



成田市議会議員団では、議員の資質向上、議員活動の向上を目指し、研修会を行っています。

11月30日には、「議員の処遇等について」をテーマに、元全国都道府県議会議長会議事調査部長の野村 稔のむら みのる氏を迎えて開催しました。

## コーヒータ임



広報広聴委員会の活動も2年目となり、議会だよりの編集や議会報告会の開催について協議や内容の取りまとめをしております。第2回議会報告会では2日間4カ所の会場で開催いたしましたが、参加者が全会場合計で62名と少なく、今後は開催の告知方法等も検討し、市民の皆様に関心を持っていただけるよう取り組んで参りたいと思います。また、3月には市内の5校の高校生の代表者の方々との意見交換会も予定されており、議会は一步一步改革が進められております。

また、成田市議会では議員定数について議員定数検討会を設置し、協議を行い、昨年12月から今年1月にかけて市民1,000人に対してアンケートを実施いたしました。

市民の皆様から負託を受けた30名の議員です。議会に対するご意見・ご要望等をお聞かせください。

広報広聴委員 荒木 博

## 3月定例会は、2月24日(金)開会予定です

「成田市議会だより」についてのお問い合わせは、市議会事務局へ。

〒286-8585 成田市花崎町760

TEL 0476(20)1570(直通) FAX 0476(24)0336

Eメールアドレス gikai@city.narita.chiba.jp

成田市議会

検索



「成田市議会だより」は、グリーン購入法に基づく基本方針の判断基準を満たす用紙を使用しています。

リサイクル適正(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

PRINTED WITH  
SOYINK™  
環境に優しい大豆インクを使用しています。